

家庭学習の手引き

①家庭学習を習慣づける

家庭学習の習慣をしっかり身につけましょう！

1. 学習を始める時刻を決めましょう。
2. できるだけ子どもが学習したことに目を通しましょう。
3. 子どもが勉強するときはテレビを消しましょう。

②学習時間のめやすとお家の人の声かけ

時間のめやす

低学年

20分以上

中学年

40分以上

高学年

60分以上

声かけが大切

- 子どもがやりとげられるように声をかけ、はげます。
- 子どもが学習したことにできるだけ目を通す。
- 子どもがたずねてきたら、できる範囲でこたえる。

③がんばってほしい学習内容

- ①ひらがな・かたかなの清音が読めて書ける。
- ②国語の教科書の文章を大きな声ではっきり音読できる。
- ③助詞（は、へ、を）のつかい方がわかる。
- ④繰り上がり、繰り下がりのあるたし算、ひき算ができる。
- ⑤80字の配当漢字のすべてが読め、ほとんどを書ける。
- ⑥鉛筆を正しく持って、字が書ける。

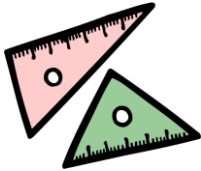
1年生

- ①160字の配当漢字をすべて読み、ほとんどを書ける。
- ②助詞（は、へ、を）を適切につかい分けて、文を書ける。
- ③九九を暗記し、すらすら言える。
- ④2けたのたし算・ひき算を筆算でできる。
- ⑤定規を使って長さを測ったり、長さの線を引いたりすることができる。
- ⑥時計を見て時刻や時間がわかる。

2年生

- ① 200字の配当漢字がすべて読め、ほとんどを書ける。
- ② 主語、述語、修飾語の意味がわかる。
- ③ 内容のまとまりを考えて、文を書くことができる。
- ④ かけ算の筆算ができる。
- ⑤ 3けたのたし算・ひき算を筆算でできる。
- ⑥ あまりのあるわり算ができる。

3年生



- ① 200字の配当漢字がすべて読め、ほとんどを書ける。
- ② ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③ 指示語や接続語を適切に使いながら、まとまりやつながりに注意して文を書くことができる。
- ④ 国語辞典・漢字辞典の引き方がわかり、活用できる。
- ⑤ わり算の筆算ができる。
- ⑥ 地図帳を使って地名やその場所が調べられる。

4年生

- ① 185字の配当漢字のすべてが読め、ほとんどを書ける。
- ② 敬語の種類と使い方がわかり、正しく使うことができる。
- ③ 小数のかけ算・わり算ができる。
- ④ 「割合」「百分率」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑤ 47都道府県の位置がわかり、正しく漢字で書ける。
- ⑥ 理科の実験道具の正しい名称や扱い方がわかる。

5年生

- ① 小学校で学習する漢字のすべて（1,006字）を読め、ほとんどを書ける。
- ② 主語、述語、修飾語を適切に使って文章を書ける。
- ③ 分数のたし算、ひき算、かけ算、わり算ができる。
- ④ 「平均」「速さ」の意味がわかり、その問題が解ける。
- ⑤ 歴史の流れがわかり、主な人物や出来事についての説明ができる。
- ⑥ 世界の主な国々の名がわかり、位置を正しく示すことができる。

6年生

1年生から3年生までの学習は4年生から6年生までの基礎、4年生から6年生までの学習は中学校にむけた基礎となります。

家庭学習の習慣づけとその内容の充実にご協力をお願いいたします。